

台湾の スタートアップ エコシステムを 発見する

4
2
0
2



Your Startup
My Island
Our TAIWAN



Startup Island TAIWANは、台湾の国家スタートアップブランドです。このブランドは、スタートアップの島から国際舞台への旅を象徴しています。これは台湾のスタートアップ企業の強い意欲と能力、そして他のスタートアップエコシステムへの貢献意向と能力を世界に示しています。

©2024 Startup Island TAIWAN。全著作権所有。

この文書は著作権法によって保護されており、Startup Island TAIWANの所有物を含んでいます。それまたはその部分は、事前にStartup Island TAIWANの明示的な書面による許可なしに、いかなる方法でも再生産、再公開、配布、送信、表示、放送またはその他の方法で利用されることはできません。

目次

台湾の概要	03
台湾概要	05
台湾を選ぶメリット	07
国際R&D投資の目的地	08
世界的に評価されるイノベーションハブ	10
政府戦略：内部からの進化	11

01



02



イノベーションのDNAと スタートアップスピリット

13

成長と拡大の10年間

15

台湾のスタートアップにおける
取引の流れをナビゲート

17

多様なセクター、豊富な機会

18

NEXT BIG | Startup Island
TAIWAN

19

03



台湾のスタートアップ支援 体制

32

スタートアップの卓越性の育成
：政策サポート

34

台湾のスタートアップアクセラ
レータ

41

台湾のスタートアップハブ

43

台湾の投資シーン

45

04



Startup Island TAIWAN-ナショナル スタートアップ ブランド

51

背後にあるすべての物語

53

成長促進：私たちの行動

55

01

台湾の概要

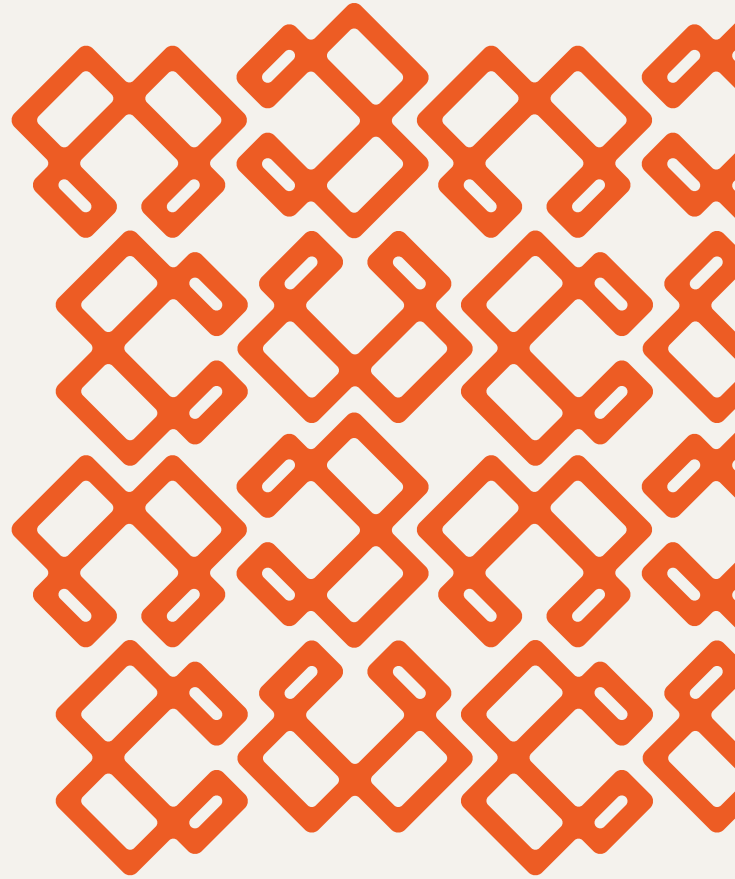
台湾概要

台湾を選ぶメリット

国際R&D投資の目的地

世界的に評価されるイノベーションハブ

政府戦略：内部からの進化



東アジアの中心に位置する台湾は、革新と進歩の象徴として立ち、そのダイナミックな経済と先進的な政策で称賛されています。このセクションでは、台湾を洞察し、息をのむほどの景観のみならず、革新と技術の活気あるハブとしても描写しています。台湾の概要から始め、その特徴を強調し、なぜスタートアップにとって理想的な選択肢であるかを掘り下げます。

ハブの台湾とイノベーション目的地の台湾、この二つのキャラクターを同時に努めてる台湾のを見続けて、最終的に、先見的な政府のイニシアチブによって駆動される台湾の成功物語、その複雑な面も明らかにします。

台湾概要

経済

世界銀行による東アジアの高所得経済

先端のコンピューターマイクロチップ製造で知られる台湾は、技術革新の先導者です。特に中小企業による製造業が台湾経済にとって重要でした。1980年代以来、台湾は高度技術の分野で重要な進展を遂げ、その情報通信技術産業は現在、世界的に認識され、尊敬されています。

GDP

2023年のGDP:23.6兆台湾ドル

2024年のGDP(国内総生産)成長率は3.43%と予測

人口

2358万人

この人口数は、オーストラリア(2500万人)やアメリカのフロリダ州(2200万人)と比較できます。

面積

35,980平方キロメートル

台湾は、オランダやアメリカのメリーランド州、またはスコットランドの約半分と同じくらいの大きさです。

風景

ビーチと山々の多様な風景

島の地形は主に山岳地帯で、北から南に走る中央山脈があります。東アジア最高峰の玉山は、海拔約3,952メートル(12,966フィート)でそびえ立っています。台湾の海岸線は約1,566キロメートル(973マイル)にわたり、砂浜、岩の断崖、そして多数の湾や港を特徴としています。

ロケーション

アジアの中心に位置する

台湾は、Evergreen、Yang Ming、Wan Haiの世界トップ10の最大船会社の3つを有しています。

アジア太平洋地域に戦略的に位置し、東にアメリカ、北に日本、南にASEANの新興市場に囲まれた台湾は、活気ある地域と世界市場への理想的な玄関です。この位置付けにより、台湾は地域での運営拠点を確立する多国籍企業にとって、トップ選択肢となります。周辺の国々へも便利で、5時間以内のフライトで到達できる目的地には以下が含まれます：

日本：東京、大阪、福岡、札幌、沖縄

韓国：ソウル、釜山、済州

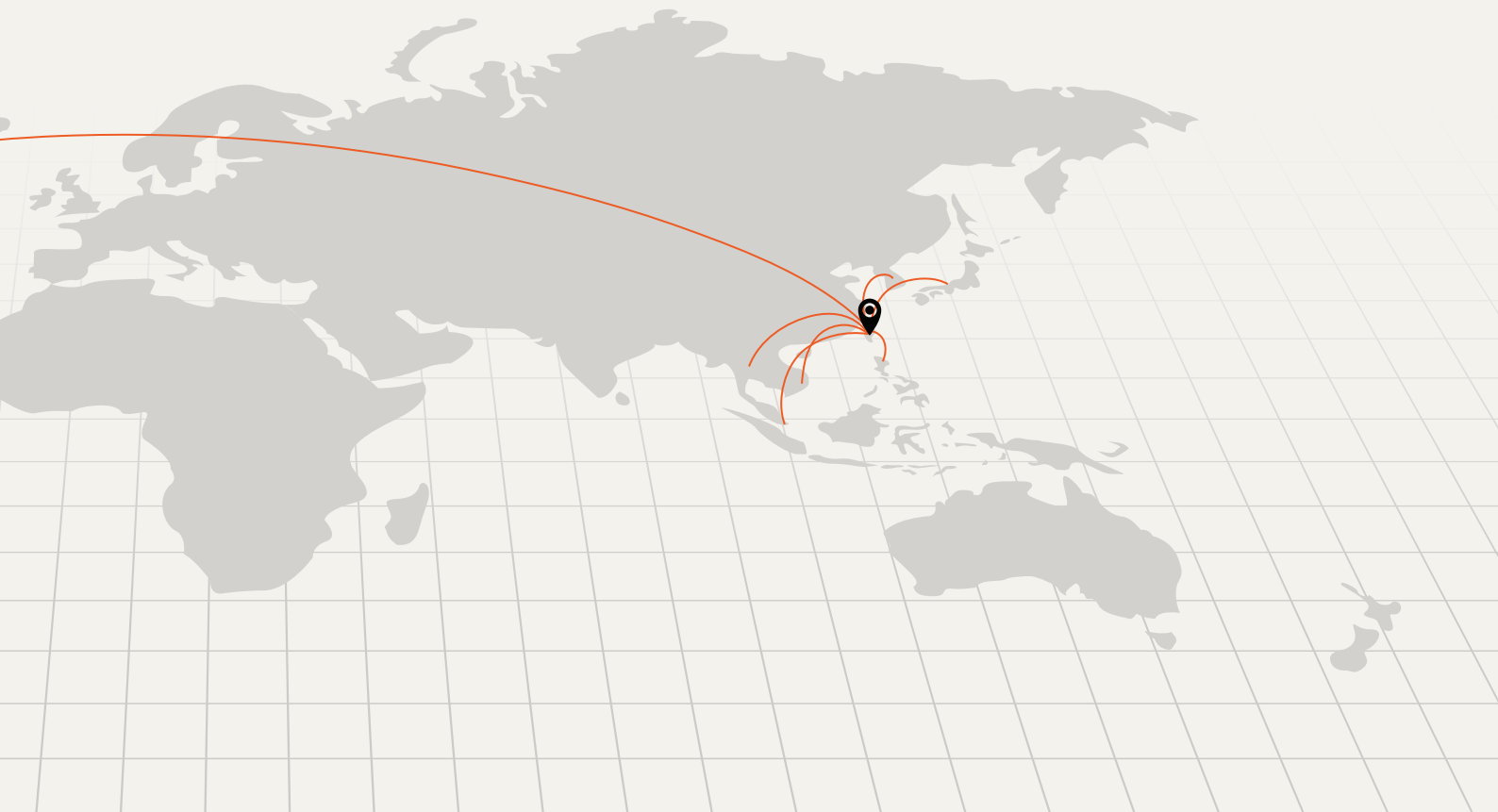
香港

シンガポール

フィリピン：マニラ、セブ

タイ：バンコク

ベトナム：ホーチミン、ハノイ、ダナン



台湾を選ぶメリット

台湾は、技術で優れた実績を持ち、活気あるタレントプールと堅固なインフラを備えた理想的な目的地として目立っています。革新者、起業家、ビジョナリーたちは、変革的な機会を求めて台湾に引き寄せられます。なぜ台湾がテクノロジーの中心地であり、将来への有望な扉であるのを確かめてしてください。



テクノロジー業界で高評価

#1

半導体&ICパッケージングおよび
テスト

#2

世界的なフラットパネルディスプレイ
生産額



ハイクォリティのデジタルインフラ

#1

グローバルモバイルブロードバンド
ユーザー数

#5

インターネット通信速度



質の高い革新的なタレントプール

#16

グローバルでの革新的なタレントプール

#3

アジアでの革新的なタレントプール



世界クラスの医療システム

#1

グローバル医療指標



知的財産権保護およびそのシステム

#4

アジアでの特許保護



ワークライフバランス

#1

外国人に好かれる国3年間連続ト
ップ

国際R&D投資の目的地

近年、台湾は主要な国際企業が投資され、研究開発施設を設立するホットスポットとなりました。台湾の半導体産業におけるグローバルの強み、高品質なR&D人材、産業クラスター、革新能力、知的財産権の管理、およびCOVID-19パンデミックの対応が原因と見られています。

現在大手グローバル企業30社が台湾で研究開発センターを持ち、約6,000億台湾ドル(190億米ドル)を投資し、推定年間生産額は約3,400億台湾ドル(109億米ドル)です。特筆すべきのは、Googleのデータセンターがアジア最大であり、またマイクロソフトがアジア初のAI研究開発センターを設立しました。



米国以外の最大のハードウェア
ラボと主要なR&Dハブ



2019年に台湾でAIラボセンタ
ーの拡張を開始



台湾で最新のイノベーションラボ
を開設



桃園にイノベーションセンターを
設立



台湾にフランス以外の唯一のイノ
ベーションセンター



国立台湾大学との共同イノベー
ションハブを開設

世界的に評価されるイノベーションハブ

国際的なスタートアップの指標や関連評価は、台湾の起業家環境を観察するための重要なツールとして機能します。

国際経営開発学院(IMD)は、スイスの名門独立系学術機関であり、IMDワールド競争力年鑑(WCY)という年次報告書を紹介することで重要な存在感を確立しています。この報告書は、長期的な価値創造のための能力管理に基づいて国をランク付け、包括的な調査データに基づくベンチマーキングとトレンド分析を提供しています。WCY設立以来、国の競争力を評価するためのグローバルな基準点に進化しました。以下では、IMDの2023年WCYでの台湾のランキングを強調し、過去6年間の総合的なパフォーマンストレンドを概説し、一貫したランキングの上昇を示しています。

同様に、バブソン大学(米国)とロンドン・ビジネス・スクール(英国)が発行する「グローバル・エンタープライズ・モニター(GEM)」レポートは、各国の起業環境の長期的な評価を提供しています。近年、台湾はGEMレポートで一貫して高い評価を受けており、特に国立起業コンテキスト指数(NECI)で常に上位3位にランクインしています。

さらに、国際的な研究機関StartupBlinkは、年次のグローバルスタートアップエコシステムの評価を行っています。2020年のランキングデビュー以来、台湾は持続的な成長を遂げ、2023年の最新レポートで世界第24位にランクインしています。

世界をリードするイノベーション政策アドバイザリーおよび研究機関であるStartup Genomeは、都市エコシステムを分析により、台北は2020年と2021年の「新興エコシステムランキング」で常に21～30位の範囲にランクインしています。2022年に若干の低下を経験しましたが、2023年には再び21～30位に回復しました。

国際的なスタートアップの指標	2018	2019	2020	2021	2022	2023
IMD	17	16	11	8	7	6
StartupBlink	-	-	30	26	25	24
Startup Genome	-	-	21-30	21-30	31-40	21-30
GEM - NECI	-	4	3	3	-	3

上記のさまざまな国際基準と一致するように、台湾のスタートアップは経済発展の重要な推進力として台頭しています。彼らは新興産業や競争モデルを育成しただけでなく、伝統的なセクターに新しい活力を注入しました。

台湾は国際的な起業家調査でランクアップし続けてきたのは、世界中に台湾のスタートアップエコシステムを認められているからです。それは政府および民間の両方を含み、すべてのステークホルダーに及びます。

政府戦略:内部からの進化

近年、台湾を含む世界各国は、優先的に革新と構造改革を通じた経済成長の新たな道を探求しています。

世界経済フォーラムの理解では台湾はイノベーション主導型経済への移行しています。台湾政府は「革新、雇用、公正な分配」を将来の発展の基本的な柱として動いています。内部の進化の点から見れば、政府の経済成長戦略は革新と技術、それはピラミッドの核のようなものです。

政府は、スマートマシン、IoT(アジアシリコンバレー計画の一部)、緑のエネルギー、バイオテック医薬品、防衛、および循環型経済、新農業の5つの主要セクターを重要かつ持続可能な成長の鍵と位置付けています。この計画は、5+2革新産業計画と呼ばれます。この計画は、台湾の既存のICT産業に基づいたアプリケーションサービスの開発によって、セクターでの革新と産業トレンドを促すことを目指しています。

さらに、5+2革新産業計画を拡大するため、6つのコア戦略産業イニシアチブは、グローバルな供給チェーン再構築の先手を取り、台湾を世界経済の重要なプレーヤーとして位置付けることを目指しています。これには、情報とデジタルセクター、サイバーセキュリティ、精密医療、緑の再生可能エネルギー、国防および戦略セクター、戦略的備蓄産業が含まれています。既存の「5+2」革新産業計画の枠組みを活用し、迅速にリソースと産業支援を割り当てることで、このイニシアチブは、今後数十年にわたる台湾の経済成長の堅固な基盤を築くでしょう。

進化を続ける

基盤を築く

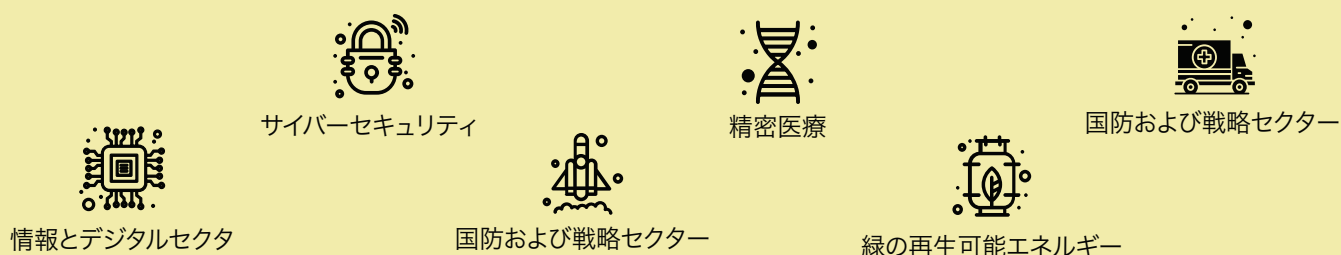
優れた環境を整備する

さらに、政府は5+2産業革新計画の基礎として6つの主要戦略的イニシアチブを促進を面して、経済成長を支援するために、基盤を最適化の取り組みは重要である。

これには、金融資本の戦略的計画、バイリンガル人材政策の実施、関連する規制の確立と合理化、および先見の明のあるインフラ政策の実行が含まれます。これらの措置により、基本的な環境はタレント、資本、およびインフラの必要性に応え、5+2革新産業計画と6つの主要戦略的産業イニシアティブが繁栄するための基盤が持続的に強化されるでしょう。

これは、台湾政府の経済開発戦略において、技術と革新が重要な役割を果たす重要なレイアウトを示しています。

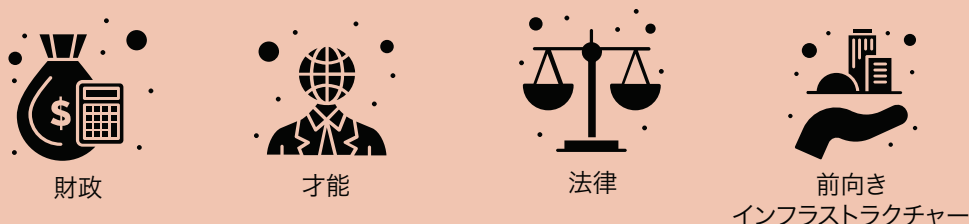
6つのコア戦略産業



5+2産業革新計画



基本的な環境



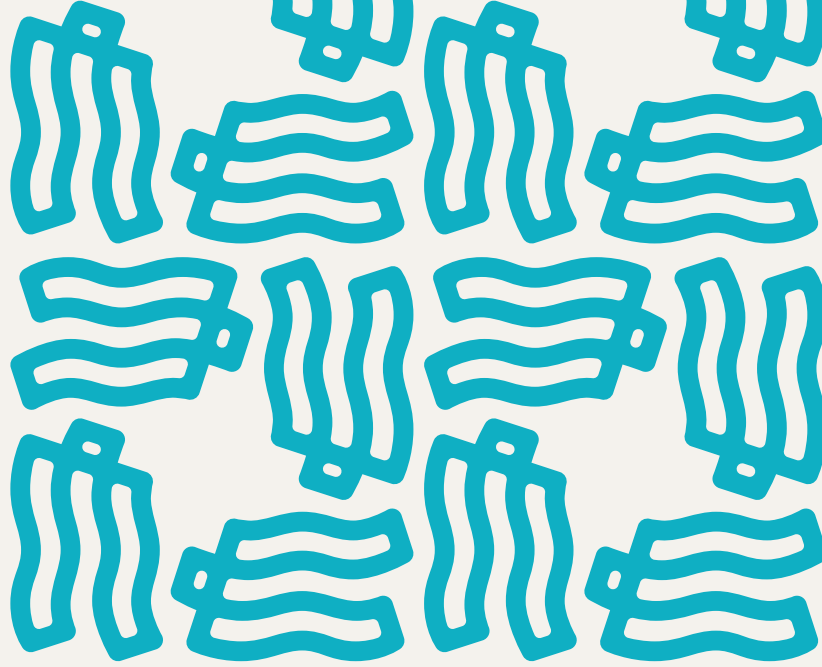
イノベーションの DNAとスタートアップスピリット

成長と拡大の10年間

台湾のスタートアップにおける取引の流れをナビゲート

多様なセクター、豊富な機会

NEXT BIG | Startup Island
TAIWAN

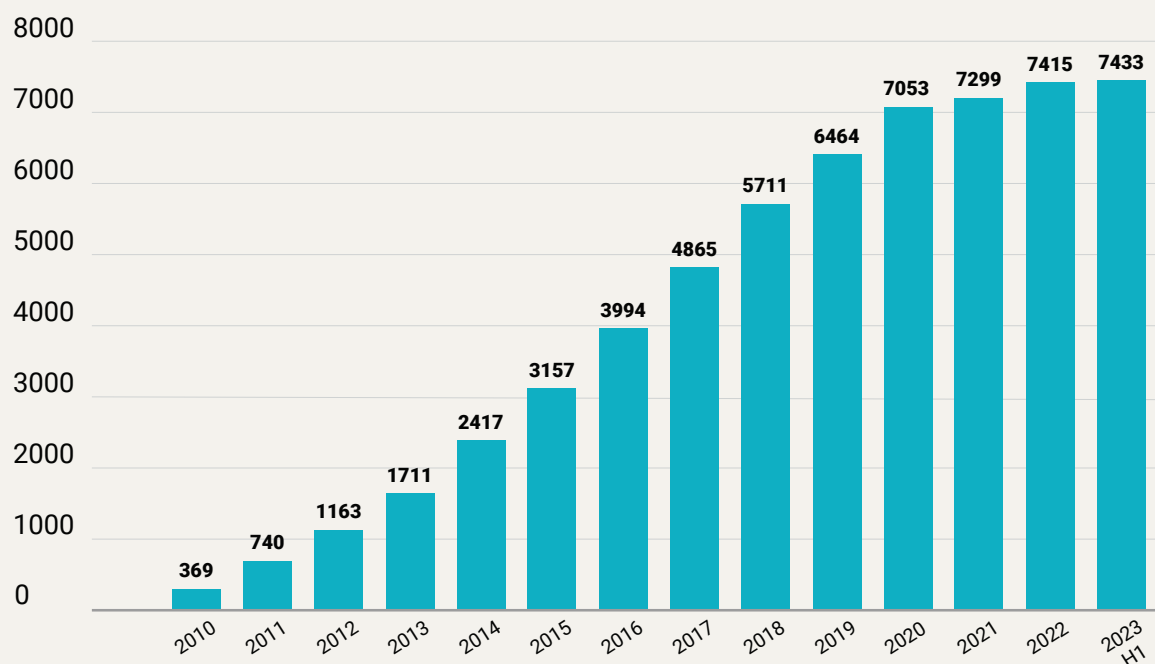


台湾のグローバルな革新とテクノロジーにおける立場と重要性を知るようになってから、次は台湾のスタートアップエコシステムの内部に焦点を当ててみましょう。このセクションでは、台湾の起業家精神とDNAを探る。起業シーンの分析から始め、投資トレンドと有望な産業の分析に続きます。国家発展委員会が主催する「NEXT BIGスタートアップ」を紹介します。このプログラムを通じて国際舞台で台湾がリードし注目すべきケースを見るのです。

成長と拡大の10年間

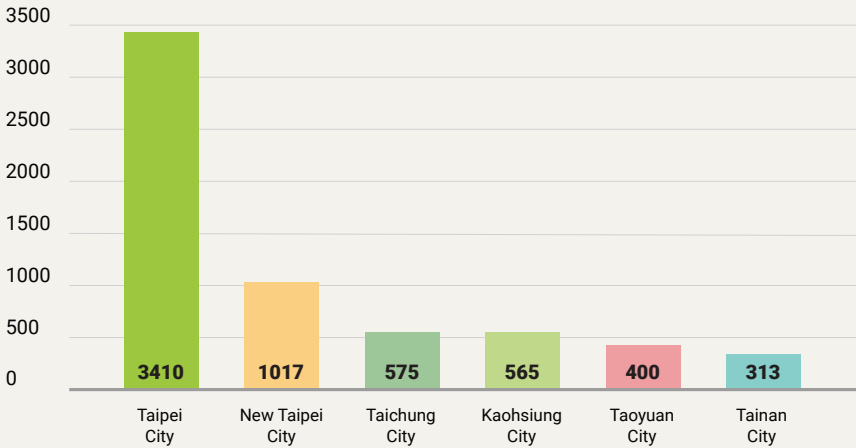
2010年以来、台湾はスタートアップの数で着実な成長を経験しており、特に2014年から2019年の間に顕著な急増を記録しています。2023年6月末時点で、台湾のスタートアップベンチャーの総数は7,433社で、そのうち6,674社が活動中であり、全体の約90%を占めています。これらのスタートアップのうち、圧倒的な97.6%が国内登録されており、そのうち63%が株式会社形態を採用し、34.6%が有限会社として運営されています。

2023年6月末時点で、台湾
のスタートアップベンチャー
の総数は **7,433**社で



■ FINDIT による各年のスタートアップ企業の総数。

FINDIT による 2010 年から 2023 年までの 6 つの自治体における新規スタートアップの分布。



登録地域をよく見ると、台湾の6つの主要な都市が新しいスタートアップがよく集まる都市というのをわかります。これらの都市は、自然にスタートアップ活動に対するより多くのリソースを引き付け、新しいビジネスを始めるにはうってつけな場所です。台北市が3,410の登録スタートアップで首位を獲得し、次いで新北市(1,017)、台中市(575)、高雄市(565)、桃園市(400)、台南市(313)が続きます。

また、スタートアップの増加につき、台湾の起業家エコシステムのさまざまな側面が大幅に成長し、拡大しています。いくつかの主要な領域をもっと深くみてみましょう。

	2015	2023
スタートアップの数	3,157	7,433
投資案件数	262	422
投資額 (\$B USD)	0.84	22.2
アクセラレータの数	10	78
ユニコーンスタートアップの数	0	4

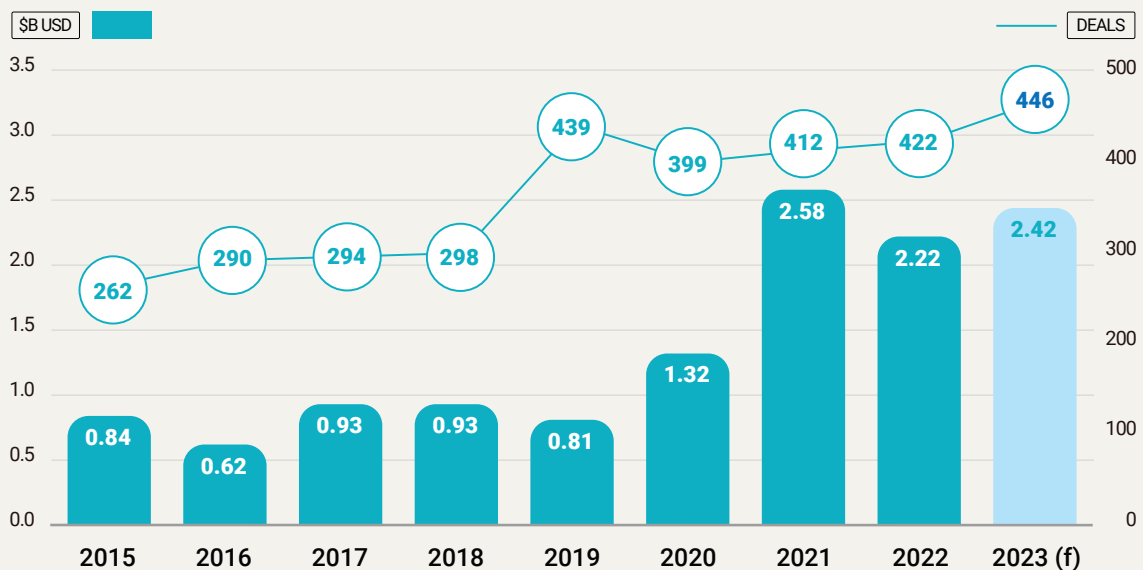
台湾のスタートアップにおける取引の流れをナビゲート

早期段階の投資熱は、スタートアップの発展の指針となります。2015年から2023年第1四半期まで、台湾では早期段階の投資が著しく増加し、総額107.9億ドルに達しました。2019年には、国家開発基金のエンジェル投資プログラムへの積極的な参加により、取引件数が399件に達し、投資額が13.2億ドルに達し、2020年のパンデミックが入っても、新記録を樹立しました。

2021年以降、台湾政府と企業は両方とも、温室効果ガス排出の実質的なゼロ化と持続可能な緑のエネルギーイニシアチブの推進に注力しています。再生可能エネルギー、省エネ、エネルギー管理への投資は、多数の数百万ドル規模の取引を生み出しています。

2022年には、緑のエネルギーやバイオテクノロジーテーマの勢いが持続しました。巨額のディールが減少したことによる投資規模の13.85%の減少にもかかわらず、投資は相当な額であり、総額22億2000万ドルに達しました。2023年第1四半期だけでも、総額5億3000万ドルの取引が105件ありました。

2015 年から 2023 年までの早期段階の投資動向



多様なセクター、豊富な機会

台湾の早期段階の投資動向 (2015 ～ 2022): 業界ヒートマップ

		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
投資件数	健康とバイオテクノロジー	59	59	58	57	74	83	77	75
	エネルギー	4	5	9	17	26	44	60	64
	ハードウェア	53	52	52	51	71	62	57	50
	情報技術とソフトウェア	16	18	23	33	37	38	34	41
	製造業	40	35	37	34	38	23	31	32
	メディアとエンターテインメント	14	22	22	14	18	18	20	21
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
投資額 (\$M USD)	エネルギー	1.9	14.3	50.5	131.5	51.3	393.9	896.4	715.3
	健康とバイオテクノロジー	235.9	216.0	102.1	122.9	124.6	201.4	675.8	380.8
	ハードウェア	102.4	91.0	84.4	133.7	153.1	233.5	258.8	322.9
	製造業	82.7	45.3	87.7	94.1	40.4	45.9	115.3	134.2
	情報技術とソフトウェア	14.6	25.6	53.1	54.1	90.3	38.7	143.3	129.2
	情報セキュリティ	8.6	6.2	11.8	21.2	26.7	2.7	25.6	88.7

注: データ期間は2015年1月1日から2022年12月31日までです。

出典: FINDIT プラットフォーム

これらの大規模な資金調達を受けたスタートアップは、どの分野に属していますか？最も人気のある分野は、健康とバイオテクノロジーであり、2015年から2023年第1四半期までの563の投資取引で合計21.2億ドルに達しました。投資トレンドは年々貫して高いままであり、特に2021年には数千万ドルを超える多数の投資が目立ちました。2022年には、健康とバイオテクノロジーセクターの投資取引数が75件に達し、総額3億8100万ドルに達しました。取引件数は大きな変化を経験しませんでした。金額は2021年の67.6億ドル(約203億台湾ドル)に比べて大幅に減少しました。これは主に大規模な投資プロジェクトの減少によるものです。

次に、エネルギーセクターがあります。温室効果ガス排出量実質的なゼロ化や持続可能な緑のエネルギーの促進など、近年注目されてきたエネルギーセクターです。2015年から2023年第1四半期まで、エネルギーセクターは252件の取引で総額26億4000万ドルに達しました。これらの投資の90%以上が2020年以降に発生しました。2022年だけでも、715百万ドルに達する64件の取引がありました。

成功や有望な台湾スタートアップの話するには、まず台湾国家発展委員会によって開始されたNEXT BIGスタートアッププログラムを知る必要があります。

台湾国家発展委員会(NDC)は、台湾の国家スタートアップブランドである”スタートアップアイランドTAIWAN”を基礎とし、グローバルなスタートアップエコシステムでの存在感を高めるために積極的に取り組んでおりました。この取り組みの重要な要素は、NEXT BIGプログラムの継続的な進化の一環としてスタートアップコミュニティに業界有名人が支援している優れたスタートアップを認識させること。内部では、台湾の開拓精神を体現し、次世代が革新を受け入れるように刺激します。外部では、国際舞台での台湾のスタートアップとテクノロジーの実力を紹介できるようになります。広い世界に向けて力を合わせて、私たちはビッグになることを目指しています。

NEXT BIGは、国家スタートアップブランドの代表だけでなく、さまざまな産業の成長の可能性を象徴します。TSMCが半導体セクターで果たした重要な役割と同じように。台湾の起業家の絶えずしてきた努力は、歴史的に堅固な産業基盤を築き、世界のテクノロジーエリアに台湾が重要な位置にづけられています。新しい技術の時代を切り開くには、台湾がスタートアップのイノベーションに依存しています。NEXT BIGプログラムを通じて、これらの優れたスタートアップは単なる孤立したものではなく、技術時代をリードする一つにまとまった先駆者です。

NEXT BIGプログラムは、スタートアップコミュニティ、業界リーダー、経済省、科学技術委員会など、さまざまな政府機関の代表が参加する協力的な取り組みとして機能します。合意形成の議論や現地訪問を含む厳格な選考プロセスを採用し、産業変革を促進し、実質的な成長ポテンシャルを示すスタートアップがNEXT BIGスタートアップとして指定されます。過去に選出された22のNEXT BIGスタートアップの紹介は、次のセクションで行います。



Together
Go Big

1

AmazingTalker

教育テクノロジー

設立年：2016年

Amazing Talkerは、140以上の言語で学生向けに1対1およびグループ指導を提供するグローバルオンライン言語学習プラットフォームです。2016年に設立され、AmazingTalkerは280万人以上の生徒と11,000人以上の講師をプラットフォームに引き付けました。特別なアルゴリズムとAIを組み合わせたAmazingTalkerは、すべての人が迅速に適切な講師を見つけてさまざまな言語や科目をオンラインで学ぶことを可能にすることに専念しています。同社はほぼ400%の年間収益成長率を達成し、売上の70%が海外市場から得られています。AmazingTalkerは、台湾の教育スタートアップ産業で最初のユニコーンとなることを期待しています。

2

CoolBitX®

フィンテック

設立年：2014年

CoolBitxは、ブロックチェーンセキュリティ技術の革新と開発に取り組んでおり、CoolWalletとSygna Bridgeという主要なソリューションを提供しています。CoolBitXの主力製品であるCoolWalletは、Bitcoin、Ethereum、Litecoin、XRP、ERC20など、さまざまなトークンをサポートするクレジットカードサイズのBluetoothハードウェアウォレットです。CoolBitXは2014年に設立され、デジタル資産スペースの変化するニーズに応える使命を掲げています。彼らはまた、製品Sygna Bridge向けのオーダーメイドのソフトウェアサービスを提供し、各国の反マネーロンダリング規制に準拠しながらディーラーがコンプライアンスを達成できるようにしています。

3

CuboAi

ヘルステック

設立年：2017年

CuboAiは、新生児の安全、睡眠状態、総合的な健康のリアルタイム検出を提供する世界初のAI駆動のベビーモニターです。CuboAiのスマートベビーモニターは、積極的なAIを赤ちゃんの安全に適用することで競合他社を凌駕しています。特徴的な機能には、「AIカバードフェイス&転倒検出」と「AI呼吸運動検出」があります。2017年以来、彼らの製品はアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、日本、ヨーロッパ、シンガポールなど、140以上の国で販売されています。世界中で15万個以上のユニットが販売され、CuboAiはアジア太平洋地域でトップブランドとなりました。CuboAiは、ブランドマーケティングと製品革新に関する20のグローバル賞を受賞しており、2020年と2022年にはCESイノベーションアワードを2回受賞しています。

4



サイバーセキュリティ

設立年：2017年

CyCraftは、産業用サイバーセキュリティにおける自動化の不足とAIの不足という長年の課題に対処する革新的なAIサイバーセキュリティ企業です。CyCraftは、250億台湾ドルのベンチャーキャピタル投資を活用し、AIフォレンジックアルゴリズムを活用して事件対応パフォーマンスを効果的に強化し、企業が最適なデジタル耐久性を最小の労力で実現できるようにしています。CyCraftのクライアントには、日立や三菱などの著名な日本企業が含まれています。東京都政府によって中小企業のサイバーセキュリティの強化パートナーとして2年連続で指定されています。台湾では、200以上の政府機関、法執行機関、金融機関、上場企業から認識を得ています。

5



ソーシャルメディア

設立年：2015年

DcardはDカード(読み: ディーカード)は台湾最大の次世代ソーシャルメディアプラットフォームです。800万人の登録会員と2,000万人を超える月間ユニークビジターを抱え、広告、eコマース、オリジナルキャラクターIP「dttoフレンズ」、YouTube登録者数100万人を超え若年層に大きな影響力を持つ動画ブランド「Dcard Video」など、さまざまなビジネスモデルと海外市場に商機を広げています。2018年に香港とマカオでの展開を開始し、2021年には日本の大学生向けコミュニティプラットフォーム「Dtto」を立ち上げました。

6



金融テック

設立年：2016年

EUIは、グローバルな包括的金融ネットワークを構築するため、安全で便利なクロスボーダー金融サービスの提供に取り組んでいます。主力製品であるEUIマネープラットフォームは、RegTech、ビッグデータ、AI身元確認技術、および国際的に準拠したリミットランス取引メカニズムを組み入れています。台湾政府から許可を受けた金融テック企業です。EUIのプラットフォームは、台湾における外国人労働者の需要の高さに対応した、クロスボーダー送金における効率的かつ安全なソリューションを提供しています。サービス提供地域はインドネシア、フィリピン、ベトナム、タイなどを網羅し、合法的で安全な経路を通じた送金サービスに積極的な役割を果たすことで、全面的に金融へのアクセスを促進しています。

7

funnow**ライフスタイル****設立年：2015年**

FunNowは、台湾、香港、タイ、マレーシア、日本など複数の国でサービスを展開する、東南アジア有数のローカルライフスタイルマーケットプレイスです。AIを活用し、主に飲食店、マッサージ店、美容院など、デジタル化が進んでいないサービス業の小中規模事業者に特化したプラットフォームです。15を超えるカテゴリーで予約サービスを提供し、5,500以上の事業者と提携、240万人の登録会員コミュニティを有しています。また、ミシュランガイド、Google予約、トリップアドバイザーなどと提携関係にあります。有力ベンチャーキャピタルや上場企業からも高く評価され、台湾で最も有望な国際ライフスタイルサービスアプリとしての地位を確立しています。

8

 **GoFreight****SaaS****設立年：2017年**

GoFreightの使命は、フォワーディングの複雑さを解消することです。世界最大のクラウドベースのオールインワンソフトウェアにより、フォワーディング業界に革命をもたらすことができます。3千億ドル規模の国際フォワーディング市場を、最先端の技術を駆使して再定義することで、業界のオペレーティングシステムを革新し、300億ドル市場の活性化を目指します。GoFreightの革新的な製品により、フォワーディング業者はコスト削減、売上増加が可能となり、デジタル時代への容易な適応を果たし、世界市場での競争力を高められるでしょう。

9

Gogolook

サイバーセキュリティ

設立年：2012年

Gogolookは、AIを駆使したデジタル不正防止およびリスク管理サービスにおける世界的リーダーとしての地位を築いてきました。主力アプリ「Whoscall」は、世界で10億件を超えるダウンロード数を記録し、東アジアおよび東南アジアで最も包括的な電話番号データベースを有しています。多国籍法執行機関からも評価されています。通信不正防止の分野に始まり、デジタルコミュニケーション、金融テック、企業向け不正防止SaaSなどへと事業を拡大し、台湾、韓国、日本、香港、タイ、ブラジル、マレーシアなど30カ国以上に展開。グローバルな不正防止業界の中核を担っています。

10

gogoro

エネルギー

設立年：2011年

Gogoroは、台湾を拠点とするリーディングなスマート電動スクーター、モペット、モーターサイクルブランドです。革新の力を活用し、都市エネルギーの流通と消費の仕方を変革しています。バッテリー交換とビークルプラットフォームによるスマートで実証済み、持続可能なエコシステムを構築し、都市モビリティを再定義。アジア太平洋地域で最もイノベティブな企業として認められています。現在までに450,000回を超える日次バッテリー交換と、5億6,000万回を超える累積バッテリー交換を達成。2015年の開始以降、バッテリー交換で93万トン以上のCO2排出を削減しました。Gogoroのバッテリー交換ネットワークは世界45都市に展開し、280万人のエコシステム加入者に対応しています。

11

GREENVINES

スキンケア**設立年：2010年**

Greenvinesは、生鮮食品とパーソナルケア製品の両方を手掛ける独自のライフスタイルブランドで、より持続可能な方法で私たちがより良く健康的に生きることができるよう形作ろうとしています。「イノベーションは芽吹くことができる」という信念のもと、チームは体の本当のニーズに合わせたグリーンパーソナルケア製品ラインへと事業を拡大しました。特にGreenvinesは、5年連続で「Best for the World」環境賞を受賞したアジア唯一のBcorp認定企業です。科学と持続可能性の原則に基づき、2,700を超える不要な成分を排除し、日常のスキンケア習慣を持続可能な実践に簡素化しました。研究開発への集中的な投資により、Greenvinesはイノベティブな製品を次々と生み出し、消費者の広く支持を得るとともに、50以上のメディアから評価を受けています。

12

**教育テック****設立年：2015年**

Hahow(読み:ハホウ)は台湾語で「学校」を意味し、さまざまな専門教育プログラムを提供する台湾最大のオンライン学習プラットフォームです。2015年の開始以来、およそ100万人の会員と700人を超える講師、1,000を超えるコースを擁するに至りました。創業以来の売上高成長率は300倍を超え、「教育のNetflix」を目指しています。教育技術の国際的権威であるHoloniQから、台湾で最も革新的で発展性のある上位50の教育技術企業、アジアでは上位150に継続的に選出されています。2020年にはHahow for Businessを立ち上げ、台湾モバイルやカタル金融ホールディングスなどの大手企業とパートナーシップを結んでいます。一般の人々が自身の可能性を他者と共有できるプラットフォームを提供することで、時代遅れの教育の枠組みを打破しようとしています。

13



Health 2 Sync

ヘルステック**設立年：2013年**

Health2Syncは、統合デバイス、データ分析、クラウドベースサービスを組み合わせたアジア最大の慢性疾患管理プラットフォームで、患者が疾患をより正確に管理し、より良い結果を得られるよう支援します。2013年以来、糖尿病ケアに割かれる医療・財政資源の不足という課題に取り組んできました。世界で100万人を超える登録ユーザーと400以上のパートナープラットフォームを有し、アジア太平洋地域で最大のシェアを占めるとともに、アボット、ノボノルディスク、サノフィといった世界3大糖尿病治療薬メーカーとパートナーシップを結んでいます。

14

iKala

AI**設立年：2011年**

iKalaは台湾を拠点とするリーディングAIトランスフォーメーションソリューションプロバイダーで、「企業のAI競争力を可能にする」ことをミッションとしています。AIドリブンのクラウド管理とマーケティングソリューションを提供し、運用効率の最適化とカスタマーエンゲージメントの向上を実現します。iKalaのソリューションとSaaSプロダクトは7カ国で利用可能で、フォーチュン500企業を含む1,000社を超える企業やトップブランドのビジネストランスフォーメーションを支援しています。

15

inline

SaaS

設立年：2016年

Inlineは飲食店経営者向けに、店内・外で顧客との効果的なエンゲージメントを可能にする顧客管理システムを提供しています。日本、オーストラリア、タイ、マレーシア、シンガポール、香港、台湾で毎年8,000を超える飲食店でInlineが利用され、顧客にサービスを提供し、継続的につながりを持っています。飲食店はOpenTable、Google、Apple、Instagram、トリップアドバイザーなど50以上の消費者アプリからなるトップクラスの予約流通ネットワークから予約と予約デポジットを受け取るため、Inlineの包括的なプラットフォームを活用しています。また、数千の飲食店がInlineの低コストオンラインフード注文プラットフォームも利用しています。2023年時点で、飲食店はInlineを通じて1億人の顧客に提供し、2億5,000万ドルのオンライン取引を処理しています。

16



SaaS

設立年：2009年

Kdan Mobileはグローバル規模でSaaSを提供する企業で、電子署名サービスDottedSignをはじめ、生産性・クリエイティビティ関連のさまざまなソリューションをクラウドベースで提供しています。これまでに2億ダウンロードを達成し、全世界で1,000万人を超える登録会員を有しています。ユーザーの65%が欧米に、30%がアジアに、残りのおよそ15%がアフリカとオーストラリアに所在しています。Kdan Mobileはユーザーにモバイルワークの価値を体感させ、革新的な思考を促し、ビジネス価値の実現を目指しています。

17

kkday

旅行

設立年：2014年

KKdayは旅行者と本場の観光ツアー・アクティビティをつなぐ主要な旅行eコマースプラットフォームです。2014年の設立以来、アジア最大の体験型旅行eコマースプラットフォームに成長し、世界92カ国550都市で3万件を超えるツアーをカバーしています。Cool Japan Fund、国民投資開発基金、中華開発資本投資会社、ダーウィン・ベンチャーなどから7,500万ドルの資金を調達しました。現在、台湾、香港、シンガポール、韓国、日本、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナム、上海、オーストラリアに12の事務所を構え、900名を超える従業員を擁しています。

18

nextDrive

ESG

設立年：2013年

NextDriveの先進的なエネルギー管理ソリューションにより、エネルギーIoT技術の先駆者としての地位を確立しています。ソフトウェアとハードウェアの統合サービスを包括的に提供し、エネルギーゲートウェイ、クラウドコンピューティング、デバイスデータ管理プラットフォームなどを手掛けています。データ分析を活用することで電力使用の効率を最大化し、ネットゼロ社会への転換を加速させます。2017年に日本進出し、東京電力、中部電力など日本の主要5電力会社とパートナーシップを結んでいます。2023年初めには、「IoTエネルギーIoTプラットフォーム」と「Ecogenie+ホームエネルギー管理ソリューション」により、日本経済産業省から権威ある「年間新エネルギー賞」を受賞しました。

19

pinkoi

ECコマース

設立年：2011年

Pinkoiはアジアを代表するデザインeコマースプラットフォームです。ライフスタイルAIモデルを採用し、SaaSサービスを通じて世界中のデザイナーを支援することを目指しています。デザインエコシステムと消費者と真に関係するデザイン環境を生み出し、同時にデザイナーの世界的な夢の実現を後押しするため、従来の発想を打ち破ろうとしています。香港、東京、バンコクなどの都市に進出し、デザインに情熱を持つブランドと消費者の両方に対応する双方向プラットフォームとなっています。クロスボーダーeコマースプラットフォームを基盤に、デザインを活用して思い出に残る体験を生み出し、理想のライフスタイルを実現することを目指しています。

20

TRON FUTURE

創 未 来 科 技

スペーステック

設立年：2018年

TronFutureは台湾で最も成長が著しい防衛・宇宙技術企業の一つです。TronFuture Techは中国語で「未来の技術を創る」を意味します。台湾がグローバルに主導する半導体分野の強みを活かし、画期的な「超薄型アクティブフェーズドアレイアンテナ」技術を商業化に成功しました。この実績により、「ドローン防衛システム」「低軌道衛星通信ペイロード」「合成開口レーダー」などの主力製品をグローバルマーケットで主導的な地位に押し上げました。同社のコア技術はすべて台湾国内で開発・製造されています。台湾の宇宙機関TASA(台湾スペースエージェンシー)や工業技術研究院から多数のプロジェクトを受注しています。

21

17LIVE

インターネット

設立年：2015年

17LIVEはアジア最大の動画ライブストリーミングプラットフォームで、リアルタイムでのヒューマンコネクションを育み、あらゆる形態でユーザーにクローズしたコミュニティを提供することに注力しています。2015年の開始以来、日本、香港、東南アジア、米国など各地域市場に進出しています。現在、世界で55万人を超える月間アクティブユーザーと8万7,000人を超えるコントラクター配信者を有しています。17LIVEアプリは130以上の地域で世界的にアクセス可能で、AIと機械学習技術を応用し、より本物の体験とゼロ時差の配信サービスを提供しています。人と人とのつながりをエンパワーすることが同社のミッションです。グローバル展開と先進テクノロジーにより、ライブストリーミング業界をリードする存在となることが期待されています。

22

91APP

SaaS

設立年：2013年

91APPは台湾を代表するソフトウェア企業で、台湾初のオンラインマージオフラインの小売りクラウドサービスなど革新的なソリューションを提供し、ブランドのECへの迅速な参入を支援しています。OMOクラウドに加え、企業のデジタルトランスフォーメーションを促進する「コマースクラウド」と「マーケティングクラウド」も提供しています。2023年5月には台湾で初のSaaSリスト企業となり、時価総額は400億台湾ドルを超えました。ECにおけるリーダー的存在として、進化する市場で今後も成功を収め続けることが期待されています。

台湾のスタートアップ 支援体制

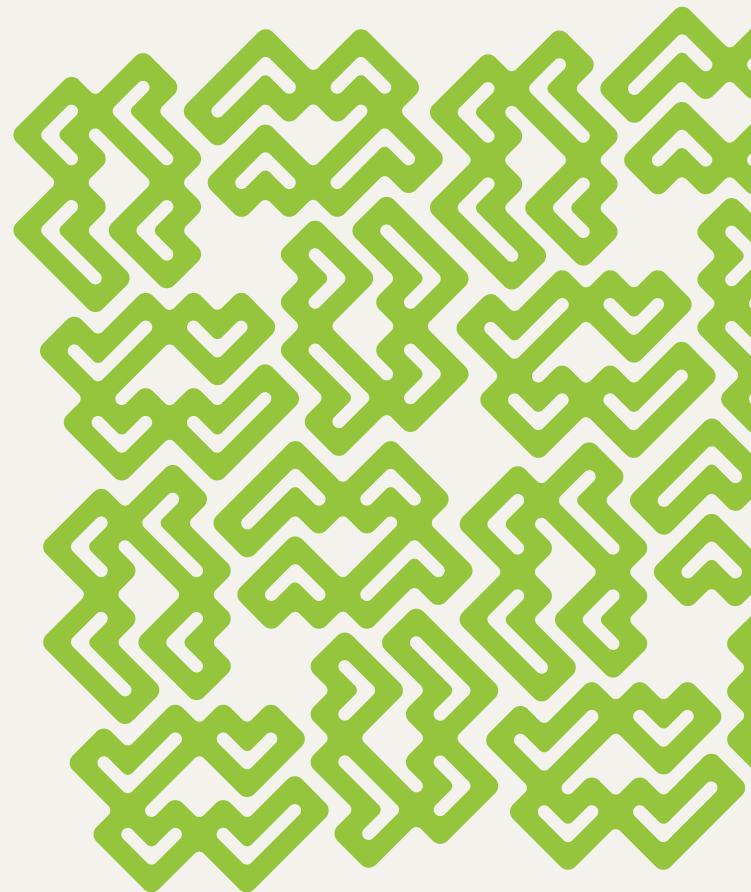
スタートアップの卓越性の育成：
政策サポート

台湾のスタートアップアクセラレ
ータ

台湾のスタートアップハブ

台湾の投資シーン

ここで話題を切り替えて、台湾のエコシステムの複雑な構造を掘り下げていきましょう。スタートアップとエコシステム自体を育成する上で重要な役割を果たす規制環境と政府の政策について詳しく見ていきます。その上で、台湾のさまざまなアクセレレーターを概観し、主要なスタートアップハブを探ります。最後に、台湾のスタートアップエコシステム内での投資環境を分析します。

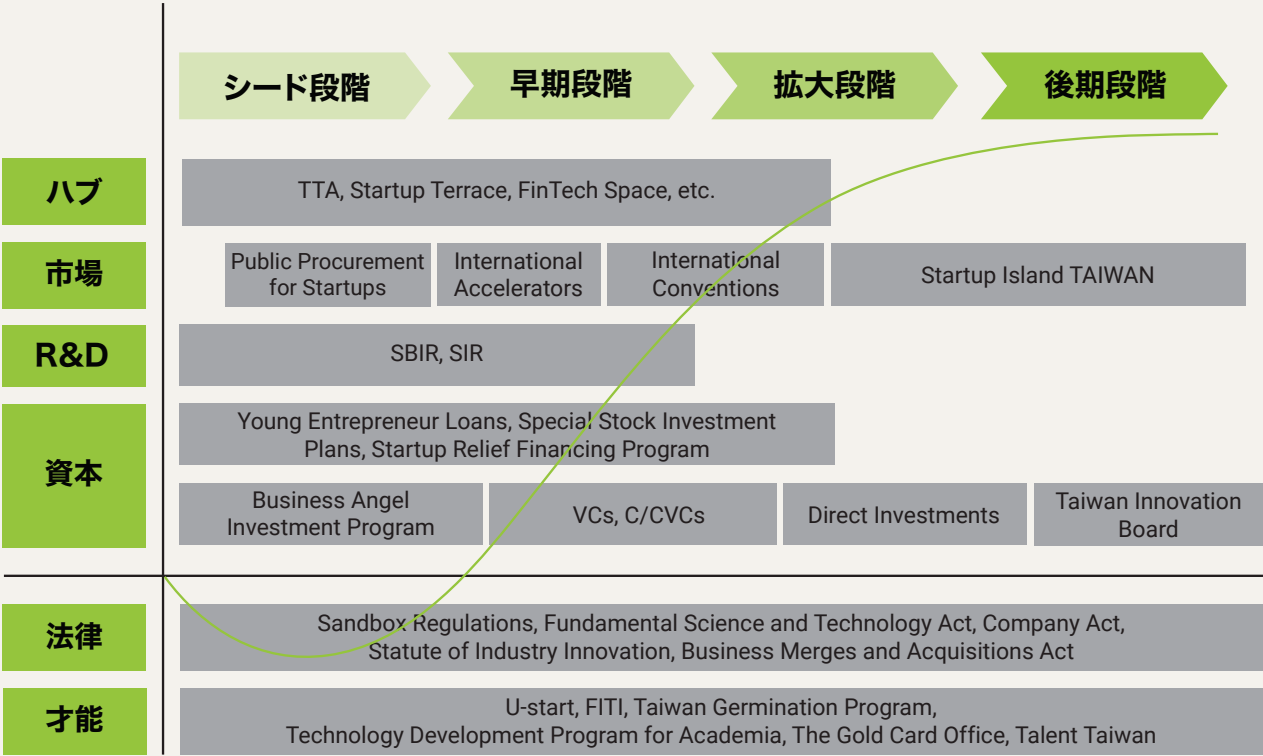


スタートアップの卓越性の育： 政策サポート

2018年、国際的な調査機関であるStartupBlinkがグローバルスタートアップエコシステムの分析・研究レポートを発表し、政府支援が手厚い国ほどスタートアップエコシステムの順位が高いことを示しました。スタートアップエコシステム発展への後押しには、政府が活用できるさまざまな政策ツールがあります。台湾政府はイノベーションと起業の発展をどのように支援しているのでしょうか。長年にわたり、政府は技術開発、人材育成、資金調達、市場開拓などさまざまな側面で積極的に資源を配分し、起業環境の最適化に大きな役割を果たしてきました。

2020年から2022年にかけて、中央政府と地方自治体を合わせて250のプロジェクトの予算総額110億台湾ドル(国民投資開発基金の投資を除く)です。これらのプロジェクトは、補助金、投資、指導、トレーニングプログラム、国内外市場開発支援、ローン、ブランディング、コンテスト、インセンティブ、人材育成、環境・作業スペースの整備など、さまざまな形で資源と支援を提供しています。次の図は、スタートアップの発展段階に応じた政府の支援資源を示しています。

スタートアップの開発段階に応じた政府リソース



政府による台湾への国際人材誘致



Talent Taiwanは、外国人および新規入国者に不可欠な情報とサポートを総合的に提供するリソースハブです。台湾での生活をスタートする個人や家族にとって、ワンストップの拠り所となることを目指しています。

2030年までに、台湾はさまざまな分野で40万人の国際人材を誘致することを目標としています。この高い目標を達成するため、Talent Taiwanはトップクラスの国際人材を惹きつけると同時に、外国人住民が直面する一般的な課題にも取り組む所存です。

国家サービスセンターとして、Talent Taiwanは外国人材の採用と円滑な統合に注力します。台湾での機会を探し、生活の拠点を置く個人や家族にとって最高のリソースとなることを目指しています。ヘルプデスクを通じて、ビザ、雇用、住居、銀行、教育、税金などについて明確で包括的な情報を提供します。



TGC(台湾雇用ゴールドカード)プログラムは、外国人専門家の誘致と支援、Talent Taiwanの一環として、国際人材台湾事務所が運営しています。2018年に開始したこのプログラムでは、居住ビザ、就労許可、外国人登録証明書、再入国許可を1枚のカードにパッケージングしています。1~3年の期間、後援者不要でオンライン申請が可能で、自由に台湾の出入国ができます。

資格審査は専門的スキルに基づいて行われ、雇用が内定している必要はありません。手数料は、申請者の国籍とカードの有効期間により、100~310米ドルの範囲です。

開放型の就労許可なので、あらかじめ雇用が決まっていなくても、求職が可能です。一定の条件を満たす現地の初期ゴールドカード保有者は、年収が300万台湾ドルを超える場合、最初の5年間で50%の所得税控除を申請できます。3年後には永住権の申請が可能で(香港・マカオ在住者を除く)、台湾の大学での修士号以上が永住要件に算入されます。また、専門職や自営の就労中のゴールドカード保有者とその扶養家族は、6か月の待機期間なしに直ちに台湾の国民健康保険に加入できます。

国民投資開発基金

民間資金と異なり、政府の投資には通常政策目標が含まれます。行政院によって設立された国民投資開発基金(NDF)の目標の一つは、有望な企業が資金不足で足を引っ張られることがないよう、新興・戦略的重要産業の成長を後押しすることです。NDFのスタートアップへの投資は、単に金銭的リターンを求めるのではなく、成長を加速させることを優先しています。スタートアップの初期段階でいくらかのリスクを肩代わりすることで、国内外からの追加投資を呼び込める程度までの成長を支援し、資本の循環を促進するのが目的です。

NDFのスタートアップ投資は、エンジェル投資、ベンチャーキャピタル投資、共同投資、直接投資、そしてCOVID-19パンデミック期間に開始された特別株式投資プロジェクトなど、さまざまなルートを通じて行われています。

直接投資

2023年10月時点で、NDFの直接投資事業の累積投資額は1兆900億台湾ドルに達しています。特に大型投資としては、2020年にKKdayが75百万ドル(約22億5,000万台湾ドル)のCラウンド資金を調達し、Cool Japan Fund、NDF、中華開発資本、ダーウィン・ベンチャー・マネジメントが参加したケースがあります。

エンジェル投資

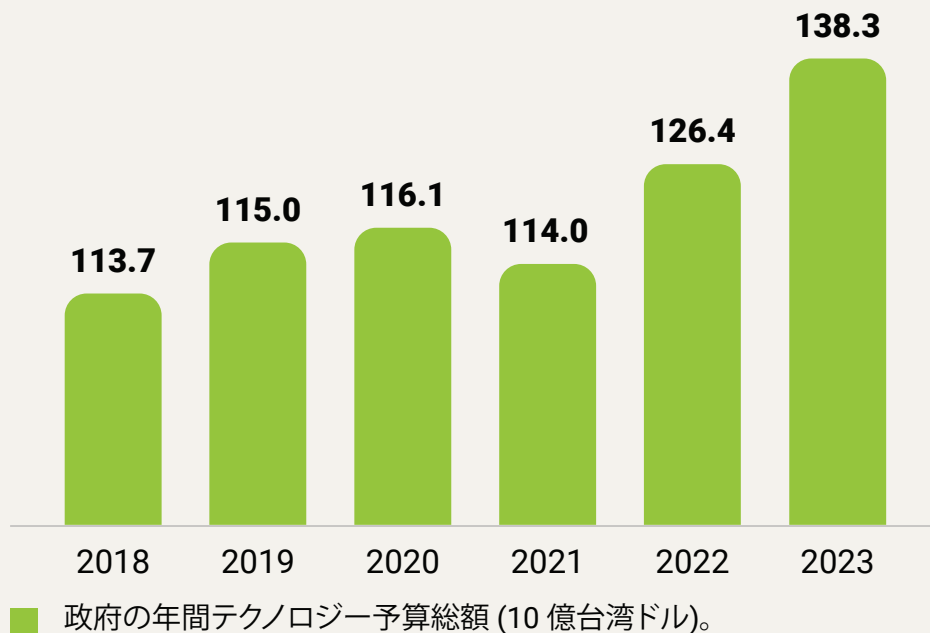
初期段階のスタートアップ向けに、エンジェル投資プログラムに50億台湾ドルが計上され、241社(Hahow、Pinkoi、CuboAIなど)への投資が承認されました。2023年10月までに同プログラム予算の33億1,200万台湾ドルが投資られて、その結果、他の投資家から119億2,600万台湾ドルの追加投資が生まれています。文化創造産業、戦略的製造業、戦略的サービス業などを対象とした共同投資も行われ、2023年10月末時点での累積投資額は150億7,300万台湾ドルに上りました。

ベンチャーキャピタル投資

2023年9月時点で、スタートアップへの投資に向けてベンチャーキャピタルと連携し、合計1兆7,606億台湾ドルが投資されています。これには、JAFCO、500 Startupsウ、Drapergameなどのベンチャーキャピタルが調達した資金が含まれます。さらに国営ベンチャーキャピタルのTaiwania Capitalには、合計1,975億7,000万台湾ドルの5つのファンドが設立され、IoT、バイオテック、医療、テクノロジー分野を対象に投資が行われています。Tawainia Capitalは、NDFから拠出された60億台湾ドルの中東欧投資ファンドも運用しています。

イノベーションの推進: 台湾の技術計画

台湾の技術進歩へのコミットメントは「基礎科学技術法」に明記されています。この法律は、政府に技術開発の将来ビジョン、戦略、そして2年ごとの概況報告を義務付けています。さらに、国内外の技術動向や各国の技術開発戦略を包括する「国家科学技術会議」を4年に1度開催し、その見解を集めることを政府に課しています。この情報を基に、台湾が直面する現在の課題を評価し、技術立国の将来ビジョンを示した「科学技術白書」が作成されます。過去3回の白書では、技術開発を産業と社会のニーズに合わせる事が中心的な焦点となっています。このビジョンを実現し、世界の研究開発の場で効果的に競争できるよう、政府は技術予算を大幅に増額してきました。2023年の技術予算は過去最高の1,383億台湾ドルに達し、13.8%の高い伸び率を記録しています。この予算配分は、政府の研究・イノベーション・開発への揺るぎない決意を物語っています。



政府の研究および補助金プログラム

商業的可能性の高い革新的技術を習得することは容易ではありませんが、起業の成功にはそれが鍵となります。独自の製品やサービスは競争優位を生み、競合他社を排除し、新たなビジネスの領域を切り開きます。政府による資金面、指導面、ネットワーキング面でのサポートは、研究開発へのアクセスを容易にし、さまざまな段階で起業家をサポートします。

以下が台湾の主な研究補助プログラムです。

中小企業イノベーション研究(SBIR)

R&D分野のイノベーション研究開発と人材育成を支援

政府の部門

中小企業およびスタートアップ管理、
經濟部(MOEA)

U-Start起業家精神育成計画

キャンパス内の革新と起業の文化を根付かせ、起業活動に適した環境を醸成

政府の部門

教育部

サービス産業イノベーション研究(SIIR)

高い技術水準と市場実現可能性のある革新的研究開発プロジェクトを奨励

政府の部門

經濟部商務局

国家重点分野の産学連携

重点分野での人材育成と産業力の強化

政府の部門

教育部

特許からIPOへ(FITI)

アカデミックな研究チームに起業サポートを提供し、
起業への足がかりを構築

政府の部門

国家科学技術評議会 (NSTC)

アカデミア技術開発プログラム

学術研究の商業化を促進

政府の部門

經濟部

Taiwan Germination Program

産学連携を通じた新規スタートアップの創出や外部買収
を支援

政府の部門

国家科学技術評議会 (NSTC)

台湾研究機関起業家エコシステムプログラム (TREE)

研究ベースのスタートアップのためのエコシステム構築、
企業の技術成果の新たな事業化を加速

政府の部門

經濟部

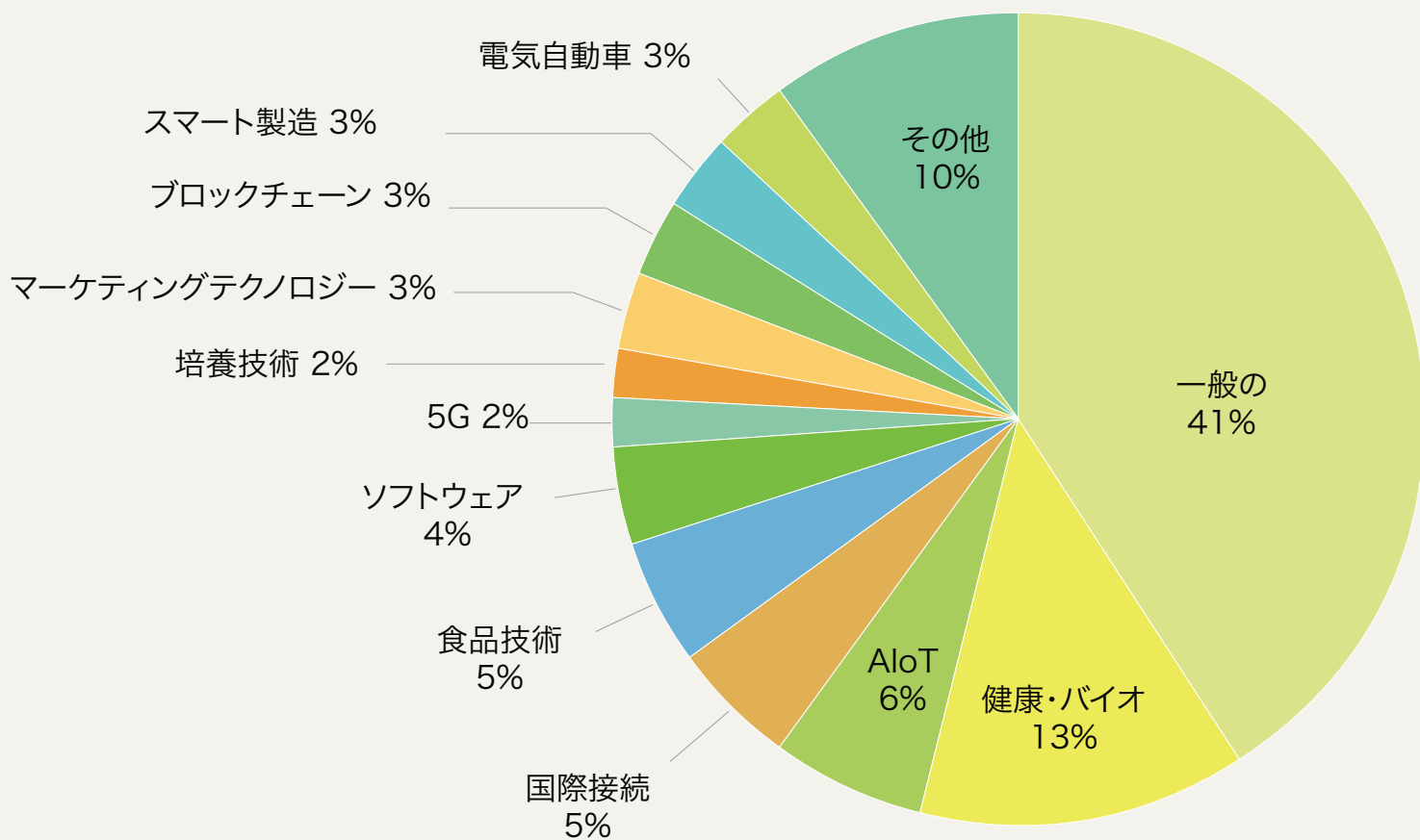
台湾のスタートアップアクセラレータ

健全なスタートアップエコシステムには、中核となる革新的なスタートアップと、政策資源を活用する支援的な政府だけでなく、アクセラレーター、スタートアップハブ、投資家など多くのパートナーが含まれます。これらのパートナーは、スタートアップにサービスを提供し、協業の機会や資金を用意するなどの役割を担っています。

スタートアップの成長を加速させることを目的とした専門組織であるアクセラレーターのコンセプトは、長年にわたり国際的に普及してきました。しかし台湾はこの領域に比較的遅れて参入しました。近年、政府の支援や企業の関与などの要因から、台湾全土で多数の新しいアクセラレーターが生まれています。これらのアクセラレーターは、地理的なカバー範囲、注力する業界、運営モデルなどさまざまですが、着実に形を整え、国際化に向けて前進しつつあります。

現在、台湾には計 **78** のアクセラレーターが存在し、設立のホットスポットは北部地域ですが、中南部地域への広がりも徐々に見られます。



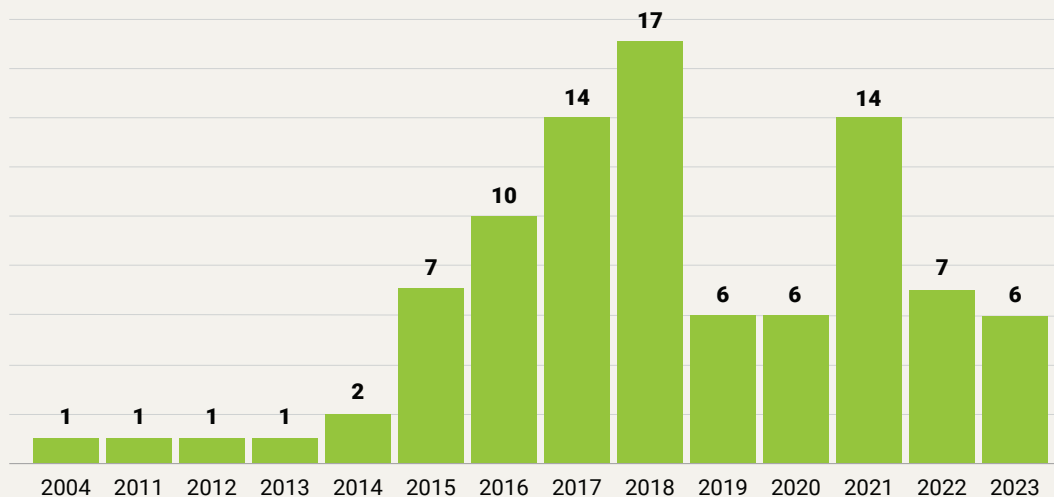


台湾のスタートアップアクセラレーター業界は、主に総合的な分野横断的プログラムによって形作られています。この分野では、情報サービス業に特化したアクセラレーターが最大のシェアを占めています。一方で年々、健康・バイオテック分野での成長が続いています。BE Health AcceleratorとShow Chwan Hospitalとの連携や、台北医科大学のBioMed Acceleratorなど、バイオテック分野のイノベーションを牽引する主要プレイヤーが存在します。

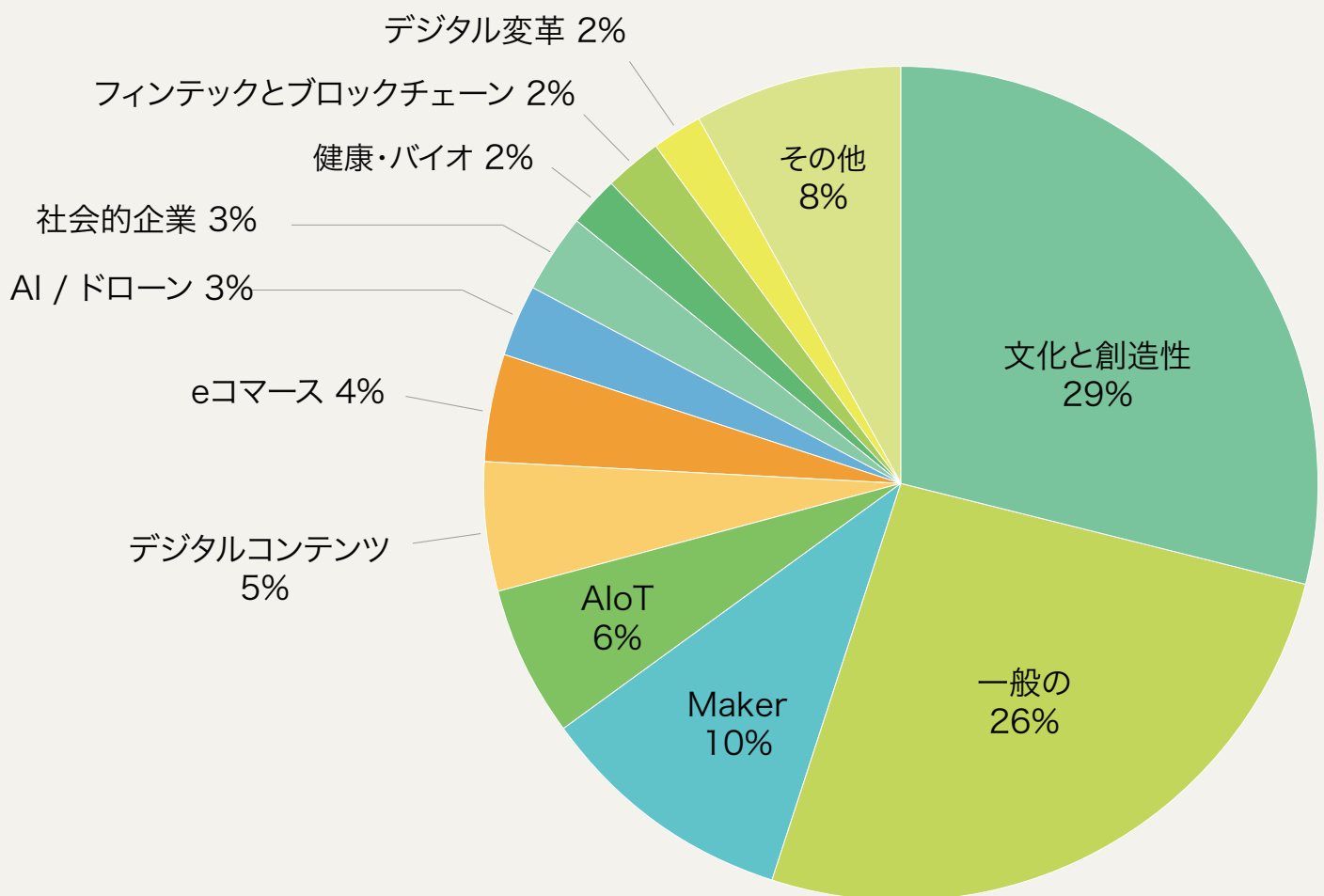
台湾のスタートアップハブ

スタートアップコミュニティ、別名スタートアップハブは、起業家を中心とする活気に満ちたネットワークです。このハブは、スタートアップ同士の交流を促進し、起業に関する知識を集約し、貴重な資源を提供するだけでなく、スタートアップと政府の間の重要な仲介役も担っています。台湾では、2015年頃から中央政府と地方自治体の両者がスタートアップコミュニティの設立に乗り出しました。

2023年6月現在、台湾には計93のスタートアップハブが稼働しており、設立のピークは2018年でした。県市別の分布では、6つの主要都市に71%が集中し、その中で最も多いのが台北市です。



■ 2004 年から 2023 年までの新しいスタートアップ ハブの分布。



台湾のスタートアップハブを見ると、大きく分けて2つのカテゴリーに分かれます。1つは特定の産業分野に特化したハブ、もう1つは様々な業界に対応する総合的なハブです。24の総合ハブのうち、半数以上が2018年以前に設立されています。大台北圏内だけでも10のこうしたコミュニティがあり、Startup Terrace、InnoSquare、Taiwan Tech Arena、Taiwan Startup Stadium、Taipei Co-Space、t.Hub、Center for Innovation Taipeiなどが含まれます。

台湾の投資シーン

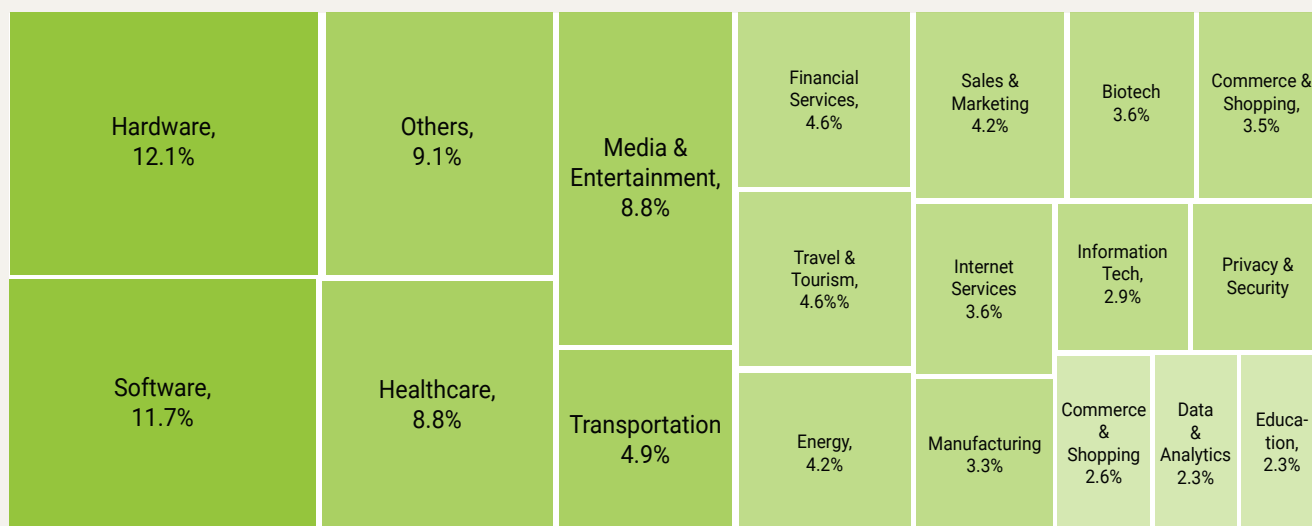
エンジェル投資の現状

エンジェル投資家は、製品が完全に成熟する前の段階で、ビジネスモデルが確立される前の初期ベンチャーを支援する傾向にあります。しかし、この段階での投資は、製品がまだ検証フェーズにあり、投資額が数百万円規模になる可能性があるため、市場での競争力や実行可能性を証明するのが難しくなります。そのため、チームの実行力を示すことが、エンジェル投資家にとって重要な検討事項となります。台湾におけるエンジェル投資の参加者数は2016年から着実に増加しており、2020年から2021年にかけては大幅な増加が見られました。2021年には参加者数が54と新たな高水準に達し、投資総額は2億7,000万米ドルに上りました。注目すべきは、そのうち47件(約87%)がシリーズA資金調達前の初期段階での投資だったことです。

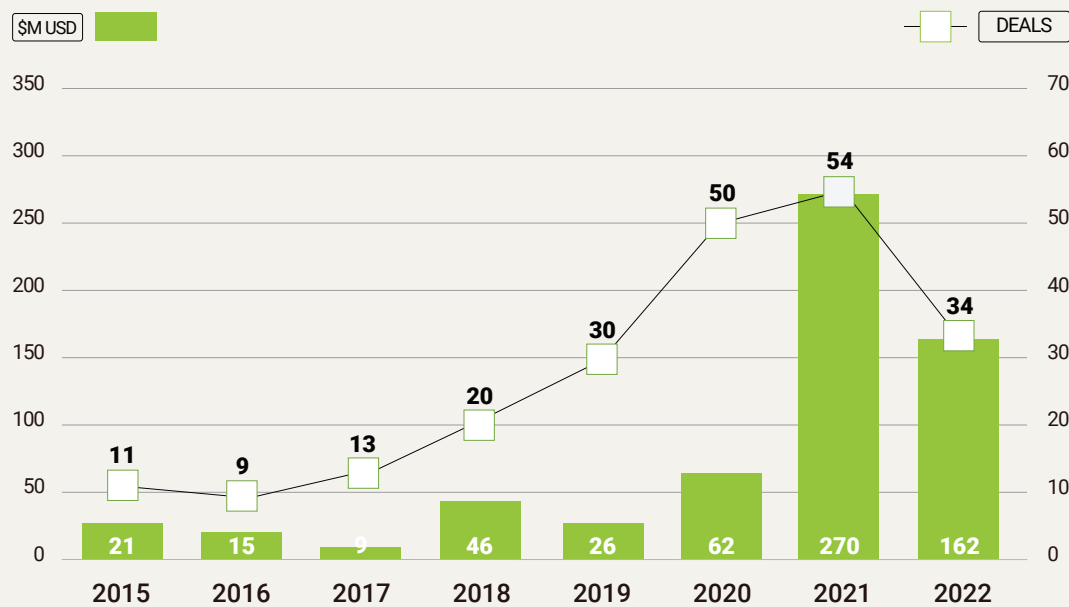
台湾では現在、交通大学エンジェル会、台北エンジェル投資会、清華大学エンジェル会など様々な団体がエンジェル投資に関与しています。その他の民間エンジェル投資組織には、AVAエンジェル、台湾グローバルエンジェル(TGA)、シリコンバレー台湾エンジェル(SVTエンジェル)、台湾リープベンチャー、XChange Angel Investmentなどがあります。

台湾のエンジェル投資が最も活発に関与している分野は、ハードウェア(12.1%)、ソフトウェア(10.7%)、メディア・エンターテインメント(9.1%)、ヘルスケア(9.1%)です。ハードウェア分野では特に電子部品に注目が集まっており、ソフトウェア分野では人工知能技術の応用が活発な分野となっており、しばしばベンチャーキャピタルや企業パートナーの関与がみられます。ヘルスケア分野では、エンジェル投資の約25%が医療機器関連です。

2015 年から 2023 年までのエンジェル投資分布



2015年から2022年までのエンジェル投資動向



企業/CVC投資の現状

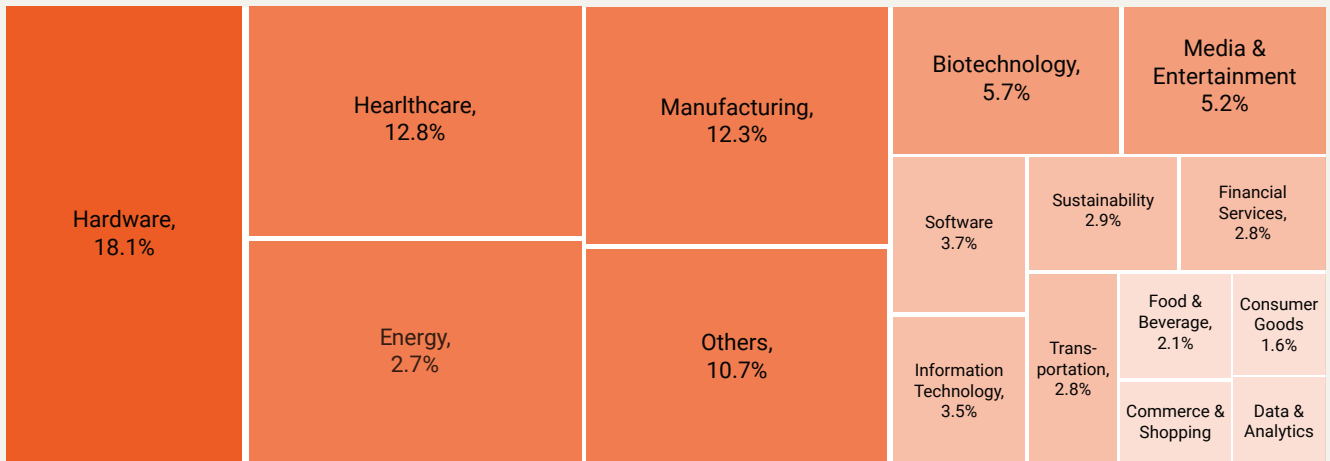
台湾では、スタートアップへの企業の投資参加が目覚ましい実績を上げており、国内ベンチャーキャピタルと肩を並べる投資額と活動性を持つに至っています。近年、お互いの強みを生かし合う相乗効果モデルが進化し、イノベーションを促進しています。

企業によるスタートアップ投資、いわゆるCorporate投資やCorporate Venture Capital (CVC)は、2018年以降台湾で着実に上昇し、スタートアップ投資全体の中で大きな勢力となっています。2022年には10億米ドルを超える2件の大型投資があり、ともにエネルギー分野でした。

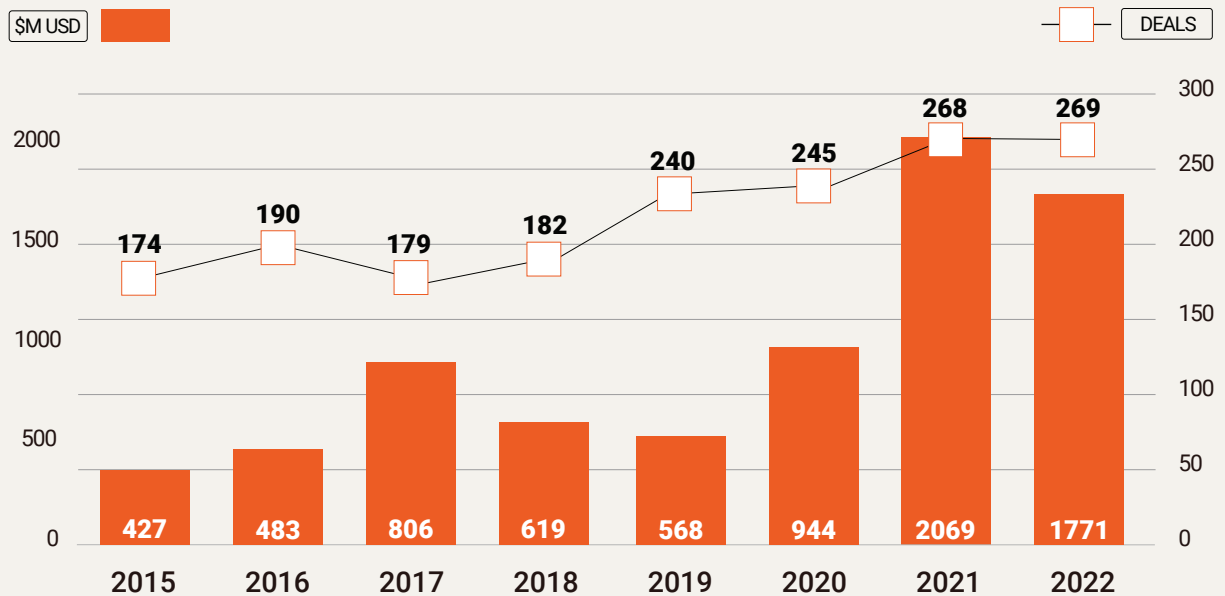
2015年から2022年までの投資分野の変遷を分析すると、企業投資が最も多かった上位4業界は、ハードウェア(18.4%)、ヘルスケア(12.7%)、製造業(12.5%)、エネルギー(12.0%)でした。ハードウェア分野には315件の投資実績があり、うち8件が2,000万ドルを超える大型案件で、半導体やエレクトロニクス関連が中心でした。続いてヘルスケア分野が218件の投資を受けました。

投資総額の割合では、エネルギー分野が最も注目を集め、19億800万ドルの投資を受けています。2019年以前と比べると、同分野への投資関心が大幅に高まっています。これは、2025年の非核家園化と新エネルギー政策などの最近の政府方針と密接に関係しており、政策支援があればあるほど、グリーンエネルギー産業は企業にとって重要な投資機会となることが分かります。

2015 年から 2023 年までの C/CVC 投資分布



2015年から2022年までのC/CVC投資動向

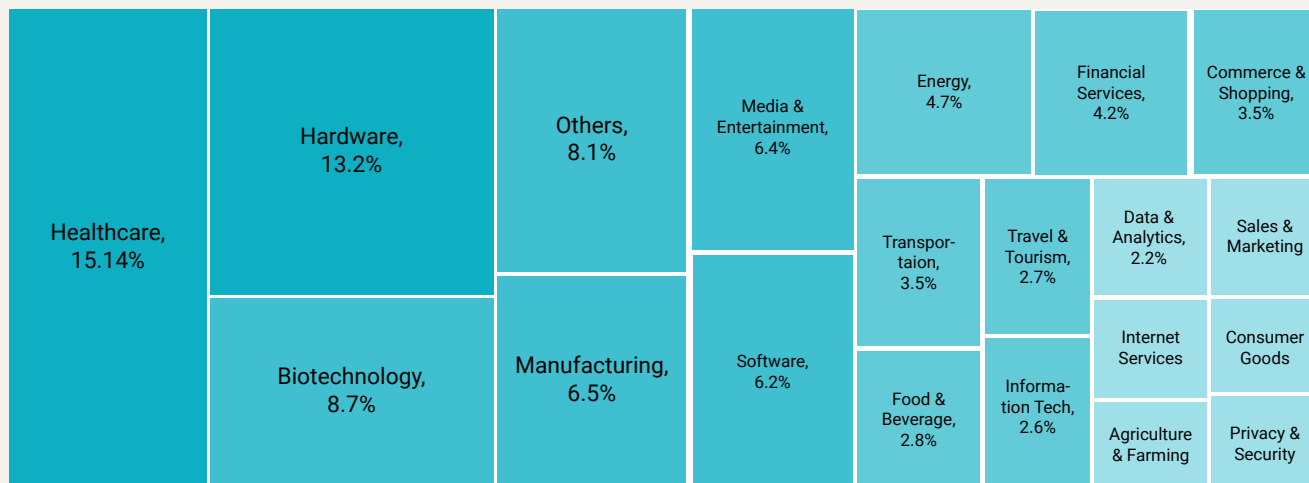


ベンチャーキャピタル投資の現状

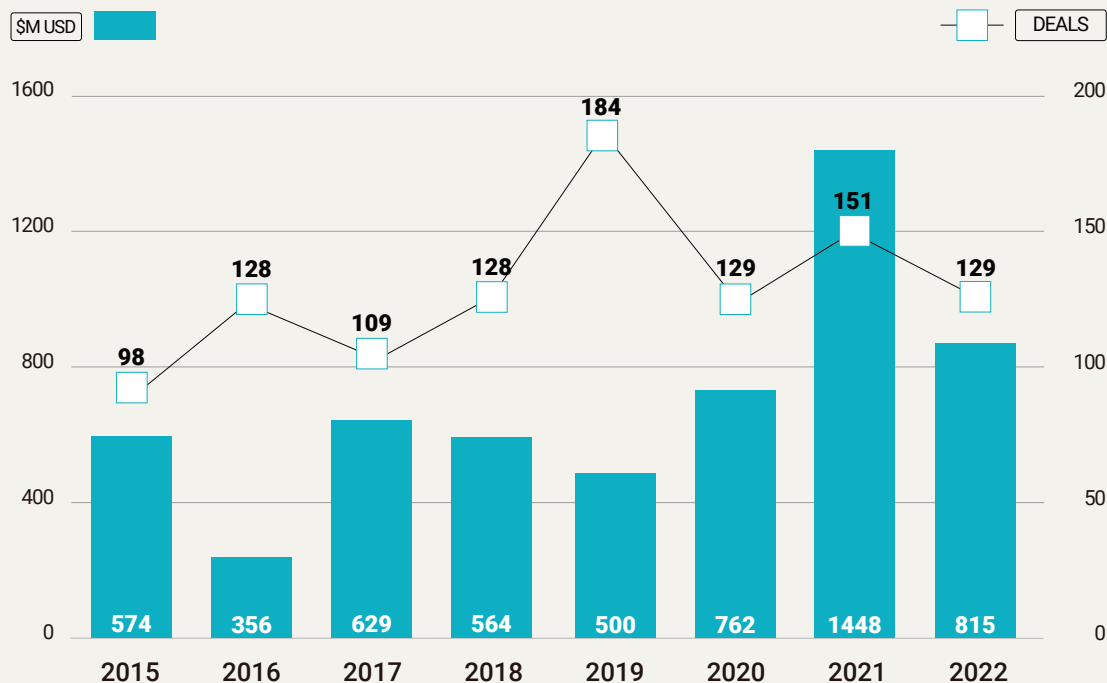
2015年から2022年の間に、500を超える国内外のベンチャーキャピタル部門がスタートアップへの投資に積極的に参加するようになりました。国内ベンチャーキャピタルの投資動向を見ると、投資件数は2019年に史上最多の184件を記録しています。一方、投資金額は2021年の14億4,800万米ドルがピークとなりました。下のグラフから、投資件数には大きな減少は見られないものの、投資金額は大幅に減少したことがわかります。特に、2,000万米ドルを超える大型投資件数が、2021年の17件から2022年には9件に52%も減少したことが、この投資額減少の一因となっています。2021年の大型投資案件は主にエネルギー、バイオテック、ヘルスケアなどの分野に集中していましたが、2022年には2,000万ドル超の大型投資がより業種を超えて分散するようになりました。2023年第1四半期時点では、大型投資はバイオテック・ヘルスケア分野に集中しています。

台湾のスタートアップエコシステムでの投資参加を分析すると、資金を受けるスタートアップの主要分野は、ヘルスケア(15.4%)、ハードウェア(13.2%)、バイオテック(8.8%)となり、エンジェル投資家の傾向と一致しています。より潤沫な資金を持つベンチャーキャピタル企業は、バイオ医薬品、先端エレクトロニクス、半導体などの資本集約的な深化ディープテックスタートアップに投資する傾向にあります。製造業分野では、華南商業銀行、国泰金融ホールディングス、富邦金融などの銀行・金融系の投資家が活発です。一方で、ヘッドラインアジア(旧インフィニティベンチャーパートナーズ)、中国信託創業投資、中華開発創業投資、ダーウィン・ベンチャーなどがこの後者のカテゴリーの投資家になります。

2015年から2023年までのベンチャーキャピタル投資分布



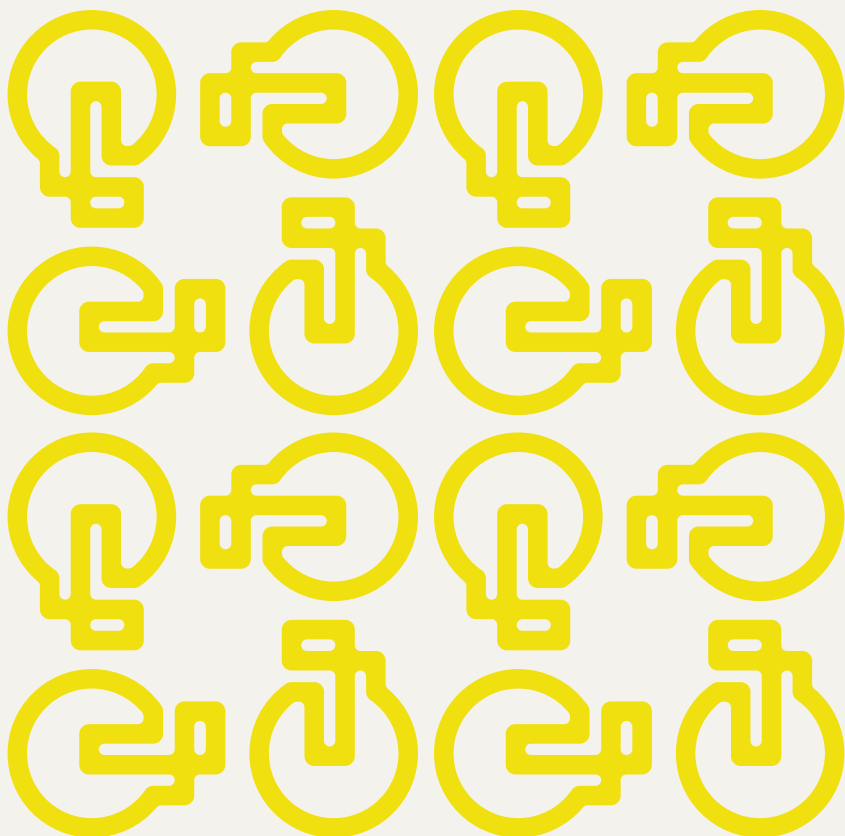
2015年から2022年までのベンチャーキャピタル投資動向



Startup Island TAIWAN-ナショナル スタートアップ ブランド

背後にあるすべての物語

成長促進: 私たちの行動



背後にあるすべての物語

起源と背景

この10年間で、台湾のスタートアップエコシステムは上昇軌道を描き、国際的にも認知されるようになり、目覚ましい実績を上げてきました。こうした状況を受け、台湾の国家発展委員会(NDC)は、台湾のスタートアップエコシステム全体のイメージを体現する統一的なアイデンティティシステムの創設に乗り出しました。

台湾のイノベーションと起業の本質的なDNAを探る旅に出たNDCは、大規模な取り組みを開始しました。台湾のスタートアップエコシステムの関係者(コミュニティ、スタートアップ、有力者、他の政府機関など)への取材と意見交換を重ね、1年の歳月をかけて、壮大なビジョンが形作られていきました。これが台湾の起業家精神の物語を決定付ける重要な瞬間となりました。

2019年、このビジョンが「Startup Island TAIWAN」という台湾国家スタートアップブランドの誕生という大胆な宣言につながりました。このブランディングは単なる名称ではなく、変革を体現する物語であり、地元での名声から脱却し、グローバルな存在感を示す決意の表れです。世界のイノベーションと起業を牽引する台湾の揺るぎない決意と能力を体現し、台湾をグローバルアリーナの中核的プレーヤーへと押し上げています。

理念とビジョン



多様な文化



大胆なイノベーション



最先端のテクノロジー



無限の創造性

多様性、寛容性、自由の社会である台湾は、長年にわたりグローバルハイテク産業の重要なパートナーであり、多くの起業家がーから事業帝国を築いてきました。島に革新的でクリエイティブなアイデアが生まれ続ける中で、台湾のスタートアップは最新のトレンドに常に触れ、新たな機会と可能性に満ちた課題に果敢に挑戦し続けるでしょう。

Startup Island TAIWANのロゴは、無限とDNAを象徴する、海に映る抽象的な山々のデザインです。台湾のスタートアップの無限のダイナミズムと、台湾人に内在する起業家精神を表しています。ロゴの4色に対応する付随デザインでは、険しい地形の山と海が、最先端技術と台湾人起業家の冒険心をそれぞれ表しています。舞う蝶は台湾の文化の多様性を、電球は創造性の無限性を表しています。

単なるブランディングを超えて、Startup Island TAIWANは台湾をグローバル舞台に押し出す戦略的な媒体です。国際展開への導管として機能し、台湾のイノベーション力を増幅してグローバルな発信力を高めます。台湾の起業家の勇気と tenacityを体現し、無限の可能性に向けて挑戦を受け入れる姿勢を示しています。

成長促進: 私たちの行動

グローバルプレゼンス

台湾のスタートアップエコシステム業界リーダーの国際的な認知度向上

エコシステムコネクション

台湾の活気あふれる起業環境の中で、国際スタートアップが成長するダイナミックなネットワーク創出

コースとワークショップ

起業家に不可欠なスキルと知識を身につけさせる、有益な教育体験とハンズオンワークショップの提供

ビジネス開発

スタートアップの成長と影響力を加速させるパーソナライズされた戦略とリソースを提供し、国際展示会を通じてビジネス機会探索

国際コネクション

スタートアップのグローバル関与への道筋を構築し、パートナーシップと市場拡大を促進、海外リソースへのアクセスを容易化



台湾のスタートアップ
エコシステムへの
ゲートウェイ。



Startup Island TAIWAN

発行元 / 国家発展委員会 / Startup Island TAIWAN

製作 / Startup Island TAIWAN

調査者 / 台湾経済研究院

©2024 Startup Island TAIWAN. All Rights Reserved.

連絡先 / contact@startupislandtaiwan.info

 www.startupislandtaiwan.info

 www.facebook.com/startupislandtw

 www.instagram.com/startupisland.tw

 twitter.com/StartupislandTw



**台湾のテクノロジー
を外の世界から発見
してもらう。**

台湾を内側から宣伝します。

台湾と世界の架け橋



**Startup
Island**
T A I W A N